



昭和7年頃。初めて自分でデザインした着物を着て。



千代の生家「川西の家」の“時計の間”で
時を刻んだ時計

生誕120年記念特別企画展

宇野千代を旅する

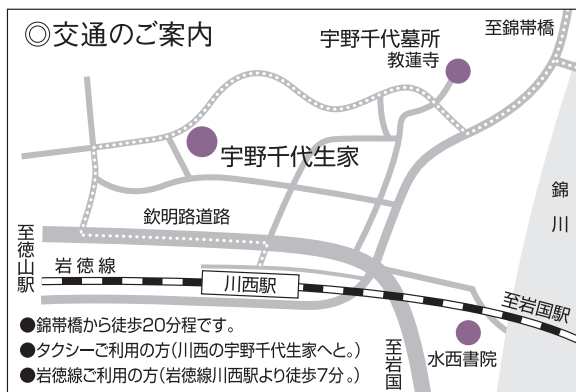
私はいつでも、現実の苦難を見詰めた、その同じ眼で、
この苦難を越えた向うの山は、どんなに愉しいか、
その愉しさを思い描くことが出来たのです。
気楽な人、と笑われても、つねに、いつでも、
幸福な明日の日を夢に見て、暮して来ました。

『幸福人生まっしぐら』

宇野千代

宇野千代 うのちよ◎作家

1897年(明治30年)山口県生まれ。1914年岩国高等女学校卒業。21年処女作「脂粉の顔」懸賞短編小説一等入選。作家活動に入る。35年初期代表作「色ざんげ」を発表。36年スタイル社設立。女性誌「スタイル」創刊。57年代表作「おはん」で野間文芸賞受賞。58年女流文学賞受賞。72年芸術院賞受賞。83年「生きて行く私」を発表、ベストセラーとなる。90年岩国市名誉市民となる。文化功労者として顕彰される。96年没。勲二等受勲。享年98歳。



◎交通のご案内

- 錦帯橋から徒歩20分程です。
- タクシーご利用の方(川西の宇野千代生家へと。)
- 岩徳線ご利用の方(岩徳線川西駅より徒歩7分。)

NPO 宇野千代生家

〒741-0082 山口県岩国市川西2-9-35

☎0827-43-1693